

# 「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド'15」・「川崎メカニズム認証制度」

## の認定・認証結果及び発表会について

### 1 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド'15の認定結果について

#### (1) 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド事業の概要

低CO<sub>2</sub>川崎ブランドは、生産段階だけでなく、原材料の調達から廃棄等までのライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>を削減できる市内企業の製品・技術等をブランドとして認定し、広く発信することで、製品・技術等の普及を促進し、地球温暖化防止を図る川崎独自の認定事業です。

なお、事業を開始した平成21年度から、昨年度までに6回認定を行っており、延べ55件の製品・技術等を認定しています。

#### (2) 「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド'15」の認定結果

今年度は10件の製品・技術等について認定し、認定したものの中から、特に優れた先進性・独自性等を有する2製品を大賞に選定いたしました。(詳細は別紙1参照)

#### 【大賞（五十音順）】

	部門	企業名	製品・技術等の名称
1	製品・技術	味の素株式会社	飼料用アミノ酸「リジン」
			【理由】すでに国内外で広く利用され、家畜の糞尿に起因して、市民・企業などから排出される「市内全域における温室効果ガス排出量」の約1%（約24万トン）に相当する極めて大きな削減に貢献
2	製品・技術	宙総合研究所株式会社	宙冷却塔用銀イオンシステム
			【理由】規模の大きい冷却塔では年間数千トン以上の大幅な節水を可能にする優れた製品であり、その節水効果により約30%のCO <sub>2</sub> 削減

#### 【大賞以外の認定一覧（五十音順）】（詳細は別紙2参照）

	部門	企業名	製品・技術等の名称
1	製品・技術	株式会社アクス	スラブ開口部スライド補強筋BOX「セルボン」
2	製品・技術	MDI株式会社	BLACK BOX 超小型水熱源ヒートポンプ/チラー
3	製品・技術	佐野デザイン事務所	クッションサン・リーヴス
4	製品・技術	JFEスチール株式会社	自動車用熱延高強度鋼板「NANO ハイテン®」
5	製品・技術	株式会社東芝	C帯固体化MPレーダ【川崎メカニズム同時申請】
6	製品・技術	株式会社東芝	郵便区分機「TT-210」【川崎メカニズム同時申請】
7	製品・技術	株式会社ユニオン産業	植物配合抗菌樹脂「UNI-PELE（ユニペレ）」
8	サービス	和光産業株式会社	ワクスル・グリーンクリーニング 水研磨・資源循環型床ワックス管理

### (3) 「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド認定結果発表会」の開催

今年度認定した製品・技術等については、次のとおり表彰式を行います。

ア 日程 平成28年2月18日(木) 13時45分～14時45分

イ 場所 とどろきアリーナで開催する「川崎国際環境技術展」内のセンターステージ

ウ 内容 ① 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド'15の表彰式(大賞表彰状・認定証・楯の授与)

② 認定結果講評

③ 大賞受賞企業によるプレゼンテーション

## 2 平成27年度川崎メカニズム認証制度の認証結果について

### (1) 川崎メカニズム認証制度の概要

ライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>の削減につながる技術・製品等を対象とする点では低CO<sub>2</sub>川崎ブランドと同じですが、より精緻に削減量を計算し、さらに他都市でのCO<sub>2</sub>削減に貢献している量、いわゆる「域外貢献量」も認証し、市内企業の貢献を見える化するものです。

なお、事業を開始した平成25年度から、昨年度までに2回認証を行っており、延べ14件の域外貢献量を認証しています。

### (2) 「平成27年度川崎メカニズム認証制度」の認証結果

今年度は2件の製品について域外貢献量を認証いたしました。(詳細は別紙2参照)

	企業名	製品・技術等の名称	認証する数値
1	株式会社東芝 小向事業所	C帯固体化MPレーダ	【域外貢献量】 5.59×10 <sup>2</sup> トン(CO <sub>2</sub> 換算)  【1台あたりのCO <sub>2</sub> 削減量】 2.82×10 <sup>2</sup> トン(CO <sub>2</sub> 換算)
2	株式会社東芝 小向事業所	郵便区分機(TT-210)	【域外貢献量】 1.65×10 <sup>4</sup> トン(CO <sub>2</sub> 換算)  【1台あたりのCO <sub>2</sub> 削減量】 2.30×10 <sup>2</sup> トン(CO <sub>2</sub> 換算)

※ 川崎メカニズムは、ライフサイクルアセスメント(LCA)手法を活用して、市内企業の域外貢献量を「見える化」し、企業が市場で適切に評価される仕組みです。

※ 1台あたりのCO<sub>2</sub>削減量については、原材料調達から廃棄等までのライフサイクル全体で算定したものです。

川崎市環境局地球環境推進室  
電話 044-200-3872  
FAX 044-200-3921